I·O DATA

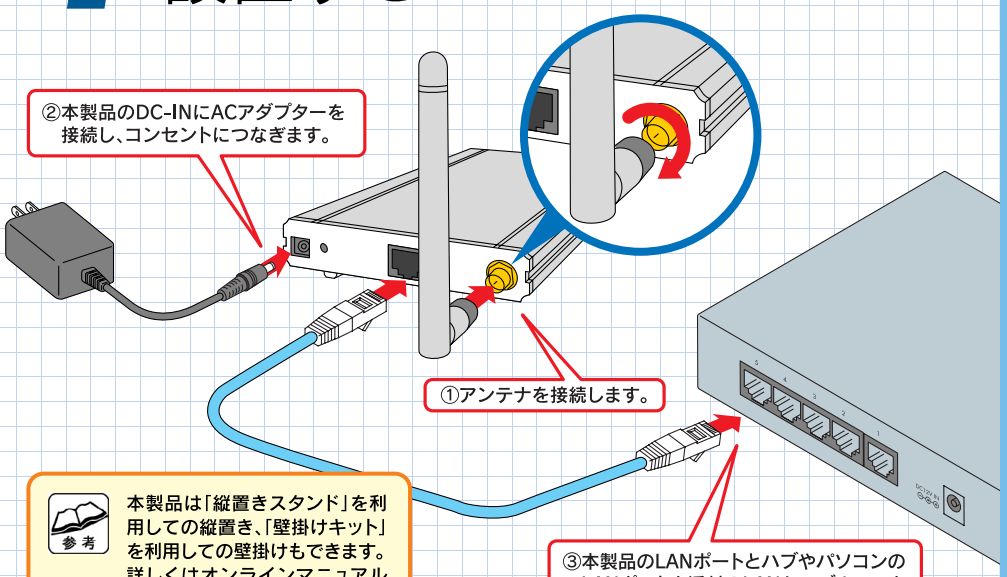
無線アクセスポイント
WN-APG/A
かんたんセットアップガイド

Windowsの場合

無線アクセスポイントのセットアップ方法を説明します。

151457-01

1 アクセスポイントを設置する



参考 本製品は「縦置きスタンド」を利用しての縦置き、「壁掛けキット」を利用しての壁掛けもできます。詳しくはオンラインマニュアルをご覧ください。

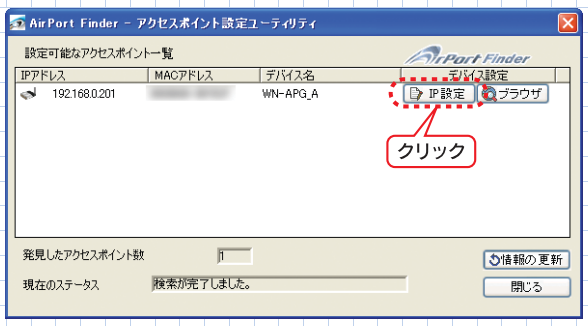
2 設定画面を開く

1. パソコンを起動します。
2. パソコンに添付CD-ROMをセットすると自動で画面が表示されますので、[ユーティリティ]→[起動]をクリックします。

※自動で画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]を開きCD-ROMをダブルクリックしてください。



3. 自動でアクセスポイントが検索されます。
設定したいアクセスポイントの[IP設定]ボタンをクリックします。



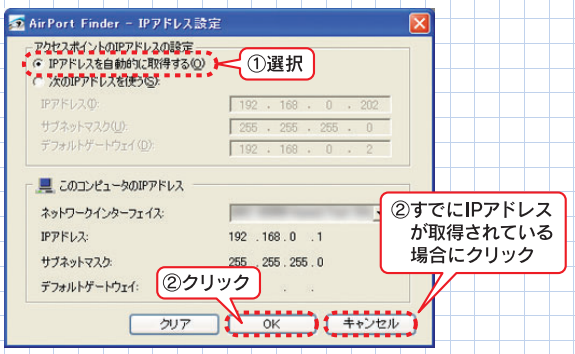
注意 本製品が見つからない場合は、下記をお試しください。
●30秒ほど待ってから、[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
●セキュリティー関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティー機能を解除してご確認ください。
詳しくはセキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

4. 「IODATA」(大文字、半角英字)と入力して、[OK]ボタンをクリックします。

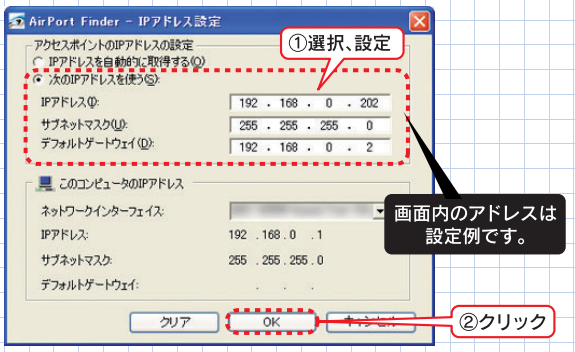


5. 本製品のIPアドレスを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

ネットワーク上にDHCPサーバー(ルーターなど)がある場合



本製品に固定のIPアドレスを設定する場合

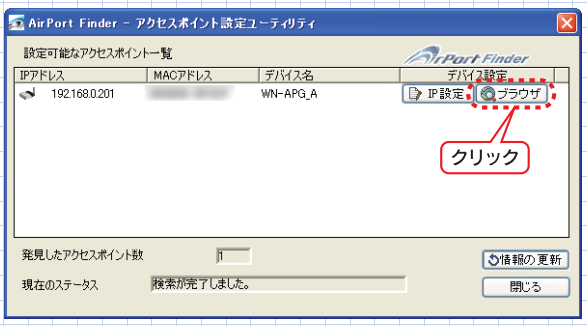




参考 本製品のIPアドレスは、設定用パソコンのIPアドレスと同じサブネット上に設定してください。

IPアドレス	IP本製品に割り当てるIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	導入するネットワークに合わせたサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	導入するネットワークのゲートウェイサーバーのアドレスを設定します。(ルーターなどのIPアドレスを入力します。)

6. アクセスポイントのリストに戻りますので、設定するアクセスポイントの[ブラウザ]ボタンをクリックします。Webブラウザが起動します。

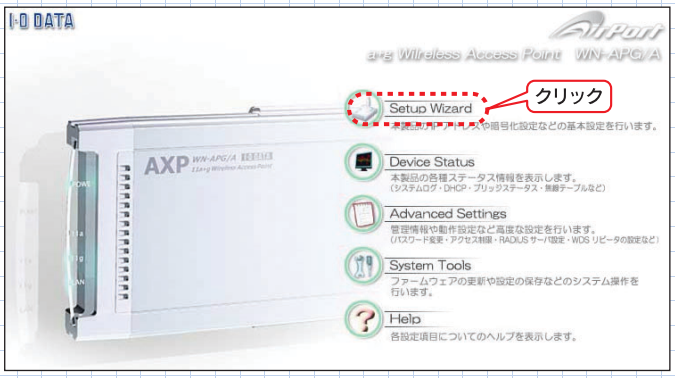


注意 Webブラウザが起動しない場合は、IPアドレスなどの設定が正しくない可能性があります。再度 2 から設定をやり直してください。

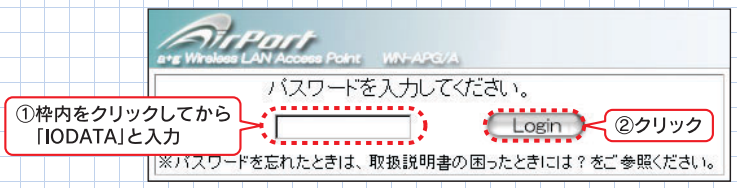
3 アクセスポイントを設定する

セットアップウィザードの手順にしたがって、本製品の設定を行います。

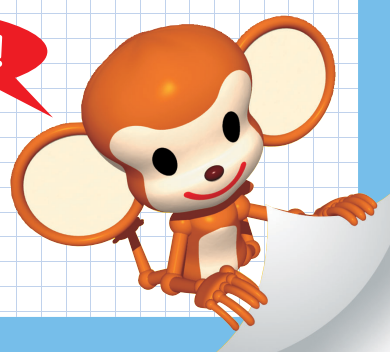
1. [Setup Wizard]をクリックします。



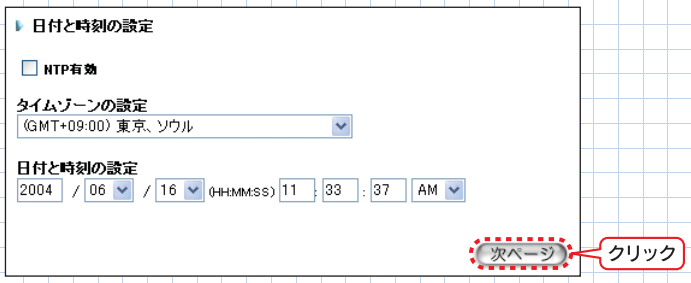
2. 枠内をクリックしてから「IODATA」(大文字、半角英字)と入力して、[Login]ボタンをクリックします。



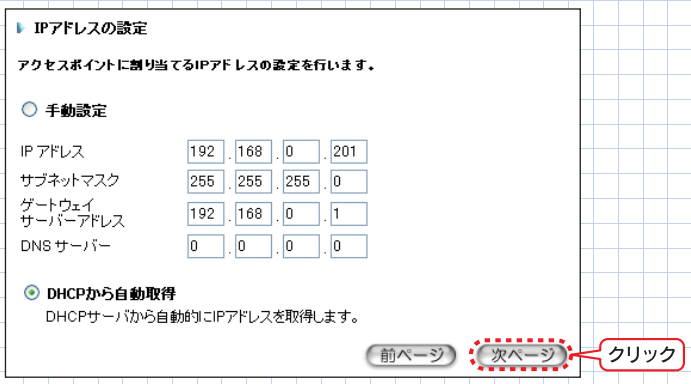
裏面へ進んでね!!



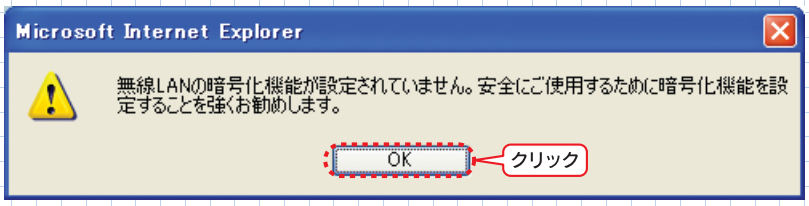
3 [次ページ]ボタンをクリックします。 通常、設定の必要はありません。



4 [次ページ]ボタンをクリックします。 通常設定の必要はありません。

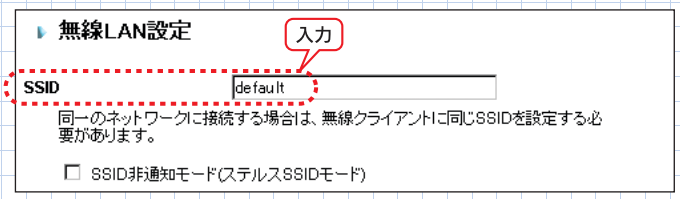


5 表示された画面を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

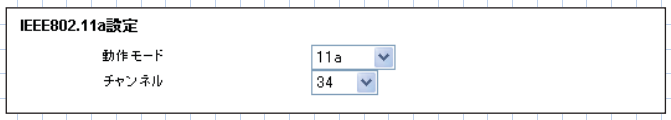


6 [SSID]を決めます。

SSIDは、無線LANアダプター設定時に必要です。メモすることをおすすめします。
32文字までの半角英数字で入力します。大文字/小文字の区別もあります。
(初期値:default)
SSIDを無線LANアダプター側に通知しない場合は、[SSID非通知モード]にチェックを付けます。

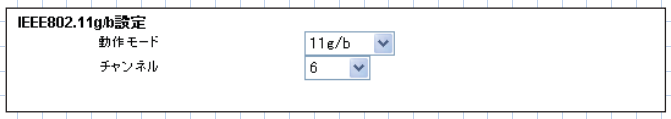


7 IEEE802.11aの動作モードとチャンネルを設定します。



動作モード (初期値:11a)	IEEE802.11a無線LANの動作モードを設定します。 ●11a:IEEE802.11aで動作します。 ●SuperA:SuperAで動作します。
チャンネル (初期値:34)	本製品の近くに他のアクセスポイントがある場合は、それぞれの機器で別の通信チャネルの値を設定してください。本製品以外にアクセスポイントがない場合は、初期値のまま変更する必要はありません。 ●34、38、42、46から選択できます。 Autoに設定した場合、設定時の1回のみ、自動設定します。

8 IEEE802.11g/bの動作モードとチャンネルを設定します。



動作モード (初期値:11g/b)	IEEE802.11g/b無線LANの動作モードを設定します。 ●11g/b:IEEE802.11gとIEEE802.11bを同時に使用できます。 ●11g only:IEEE802.11gのみで動作します。 ●SuperG:SuperGで動作します。
チャンネル (初期値:6)	本製品の近くに他のアクセスポイントがある場合は、それぞれの機器で別の通信チャネルの値を設定してください。2.4GHz帯(IEEE802.11g/b)を使用する場合は、電波干渉を防ぐため5チャンネル間隔をあけることをおすすめします。本製品以外にアクセスポイントがない場合は、初期値のまま変更する必要はありません。 ●1～13から選択できます。 Autoに設定した場合、設定時の1回のみ、自動設定します。

9 暗号化を設定して、[次ページ]ボタンをクリックします。

暗号化設定は、無線LANアダプター設定時に必要です。
メモすることをおすすめします。

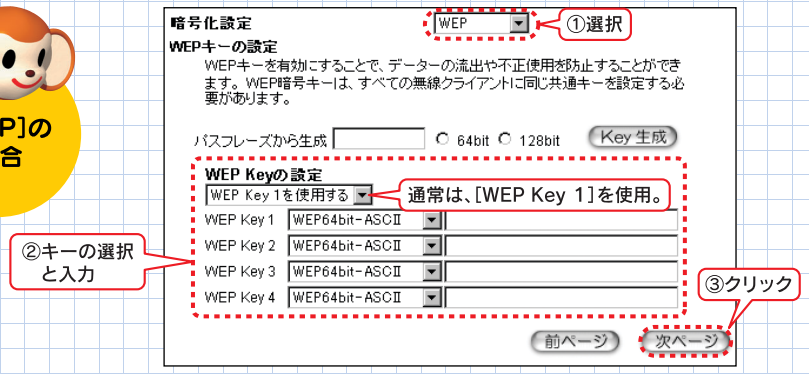
参考 **●暗号の種類の選び方**

本製品と無線LANアダプターの暗号化の種類を一致させる必要があります。本製品と通信する無線LANアダプターが対応している暗号の種類を確認してください。(詳しくは、無線LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。)無線LANアダプターが[WPA-PSK]に対応している場合は、WEPより高度な暗号化である[WPA-PSK]に設定することをおすすめします。無線LANアダプターが[WEP]のみに対応の場合は、[WEP]に設定してください。

参考 **●[WPA]および[802.1x]について**

これらは、Radius認証サーバーを使用した高度な認証方式で、企業など特に高度なセキュリティーが必要な場合に使用します。この機能の運用には別途Radius認証サーバーと電子証明書発行サーバーの構築が必要になります。これらの仕組みを理解した上での運用が必要になりますので、通常は[WEP]や、[WPA-PSK]を使用してのセキュリティー強化を行ってください。(設定方法については、CD-ROM内のオンラインマニュアルをご覧ください。)

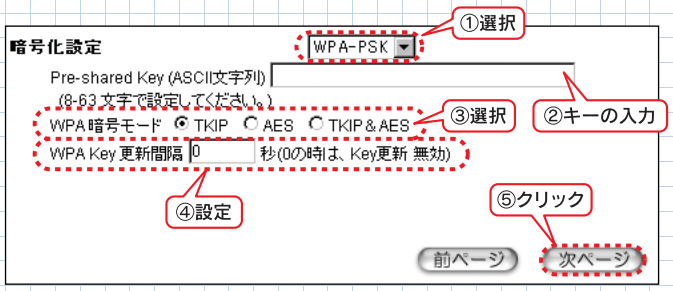




WEP Key	●16進数:0～9またはA～Fの文字列を入力します。 ●ASCII:半角英数字を入力します。 下記の文字数でWEP Keyを決めてください。 ASCII:5文字(64(40)ビット)、13文字(128(104)ビット)、16文字(152(128)ビット) 16進数:10文字(64(40)ビット)、26文字(128(104)ビット)、32文字(152(128)ビット) 無線LANアダプターなど通信相手側も同じ暗号キーの種類で設定する必要があります。通常は、[WEP Key 1]を使用します。

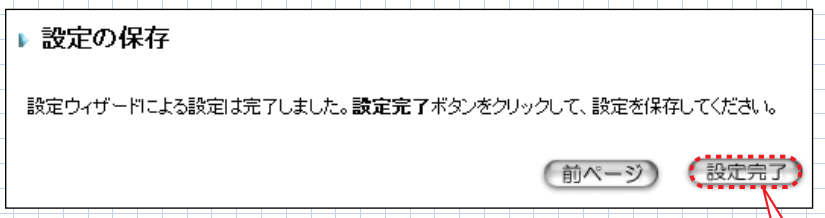
※[パスフレーズ]で設定する場合は、オンラインマニュアルをご覧ください。





②Pre-shared Key	8～63文字の半角英数字で入力します。
③WPA暗号モード	WPA-PSKでの暗号化方式を選択します。 ●[TKIP]:TKIP方式で暗号化します。 ●[AES]:AES方式で暗号化します。(TKIPより高度な暗号化です。) ●[TKIP&AES]:TKIP方式とAES方式どちらの暗号化設定の無線LANアダプターにも対応します。
④WPA Key更新間隔	キーの更新時間を設定します。 ※0の時は、更新無効

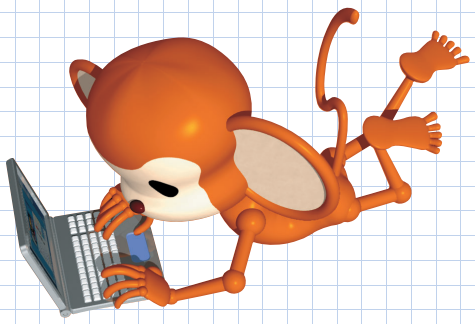
10 [設定完了]ボタンをクリックします。



4 無線LANアダプター側の設定をする

本製品に設定した[SSID]、[暗号化]にあわせて、無線LANアダプター側の設定を行います。方法については、無線LANアダプター側の取扱説明書をご覧ください。

これで設定は完了です。



デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ:http://www.iodata.jp/support/